

## 徳之島徳洲会で経験した成人の腸重積の 1 例

徳之島徳洲会病院

【症例】69 歳男性 【主訴】下血【既往歴】高血圧、糖尿病【経過】来院 1 週間前から腹痛を伴わない下血が出現し、持続するため当院を受診。下部消化管内視鏡検査で直腸内に陥入された腸管を認めた。内視鏡的には整復が困難であったため、緊急開腹術施行した。S 状結腸の直腸方向への重積を認めた。明らかな壊死所見なし。用手整復後、先進方向に II 型の腫瘍を認めた。S 状結腸切除術施行した。病理所見としては中等度分化型腺癌で、深達度は SS,NO,M0 で進行期は stage II であった。術後経過良好で退院予定である。【結語】成人では比較的稀であるが、典型的な大腸癌の腸重積を経験できた。